



大隈太陽光発電所の状況

★工事期間や残存森林の面積が変わります

○遺跡の発見と残存森林の拡大

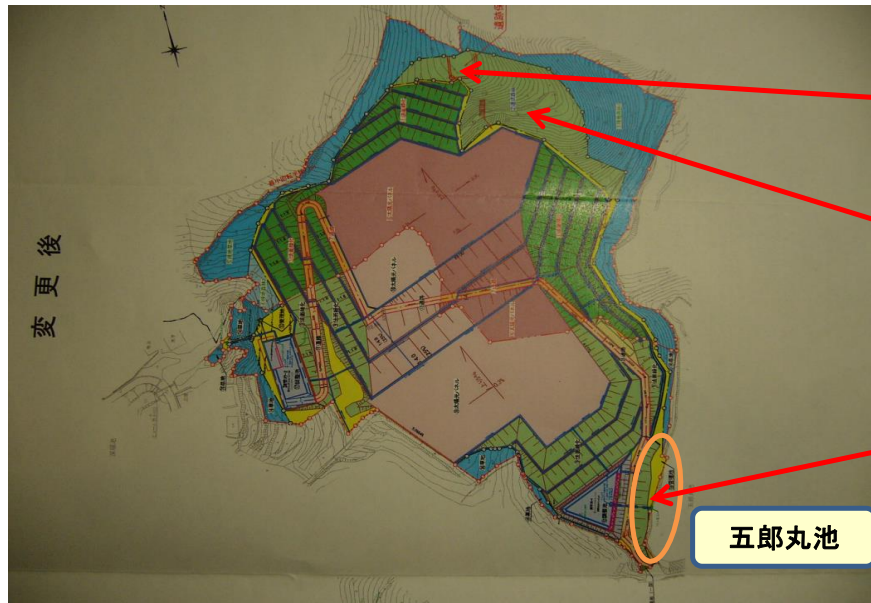
今年の春始まった「大隈太陽光発電所」の造成工事現場にて、遺跡2か所が見つかりました。古墳と中世(鎌倉時代)の群集墓です。このうち、1丁目に接する群集墓は、保存されることになり、市教育委員会により原状回復されます。古墳はすでに調査が終わり、撤去されたとのことです。このため、既に伐採された中世遺跡周辺の森林は、植林等で元通りの状態に戻されます。

○工事期間の変更(予定)

今年も豪雨が発生したことで、太陽光発電所建設の当初計画に対し、福岡県から設計変更が要請され、現在県と業者が協議中で、工事期間が6か月以上、延びる予定です。

○今後の話し合い

- ①工期や設計変更の連絡
- ②街への進入路と太陽光施設の境界に植樹する樹木の決定



1丁目6番地の南側

鎌倉時代の群集墓遺跡の場所発見された状態で保存されます。

遺跡周辺の残存森林

原状回復により、森林として残される場所。今は伐採されています。

街への進入路と五郎丸池の境界

太陽光施設と市道間に、目隠しになるように植樹します。樹種は今後協議します。



★水資源機構のダンプが通行します

寺内ダムを管理する水資源機構の寺内ダム管理所から、去年と今年、ダムに溜まった土砂の一部を浚渫、搬出するとの連絡がありました。詳細及びダンプの運行経路は、以下の通りです。ダンプ通行により、沿線の住民の方に迷惑が掛からないように、制限速度の遵守や道路のメンテナンス(傷みの補修、ホコリ対策など)への気配りなどへの対策を約束しました。

○ダンプ運行の詳細

- ・運行期間、時間 : 今年11月下旬~H31年6月初旬 8:30~17:00
- ・運行休止日 : 日曜日、年末年始、当地区の行事開催日(4月のガーデニングフェスタ)
- ・通行台数 : 80台/日
- ・その他 : 通行するダンプは、「水資源機構」のプレートを運転席に掲示します。

今回搬出する土砂は、総量7.4万m³です。そのうち4万m³を当地区を経由して搬出します。



34年3月までは、昨年の土砂災害復旧工事の予定期間です。高木地区の河川や、寺内ダムの土砂や倒木の搬出のためのダンプカーの通行が続きます。ダンプや工事関係車両の通行でお気付きのことがありましたら、区会役員やコミ協事務局にご連絡ください。(福元記)

★秋季一斉ノーポイ運動のご案内

12月15日(土)に秋季一斉ノーポイ運動を 8:30から実施します。

予備日は、12月16日(日)です。

詳細は、12月の広報配布時に、ご連絡します。

(区会役員会)

★資源ごみの回収について 1・3月は夜間回収を行いません

先月の回収は、休日並びに前回雨天中止としたため、多くの方が利用され、現場が大変混雑しましたが、皆様のご協力が無事終了できました。

また来年1月、3月は奇数月平日の回収日ですが、冬季の夜間回収は利用者が極めて少ないため、**夜間回収は実施しません**。通常の回収は、従来通り9:00~行います。

回収予定日、12月11日(火) 1月16日(水)、2月12日(火)、3月11日(月)です。(区会役員会)

★区会の分割に関する説明会の開催

先日の臨時住民総会により、朝倉市に届け出た区会の3分割について、住民への説明と意見交換をするため、第1回の説明会を開催します。

日時:12月24日(月) 13:30~ 場所:文化教室 ②



-編集後記- 街内の豪雨災害対策に関して
昨年に続き、今年も7月の豪雨による災害が、当地区内の一部で発生しました。斜面の崩壊、雨水の流れ込みによる床下浸水や、敷地の土砂の流失、宅地の陥没など様々な被害が発生しています。西ビルに対しては、崩壊が懸念される土地に関し、個人所有、社有に関わらず不安箇所を専門家の手により実施してもらうように要請しています。西ビルの販売当時の法律では何等問題がなく、西ビルへの責任を問うことはできませんが、チェックできる業者の紹介などをお願いしています。また住民自身も自宅の裏山や斜面の状況に気を付け、異常を感じたら自宅の建設業者や市役所などに相談するようにお願いします。(福元記)